

仮設スムーズ横断歩道を試行的に設置します

これまで生活道路の交通安全対策は、道路管理者において車止めポストやカラー舗装などの設置を、長野県警察においてゾーン30指定による低速度規制の面的な対策などをそれぞれ進めてきました。

今回、千曲市・長野国道事務所・長野県・長野県警察が連携し、通学路や生活道路の安全性向上を図るため、既にゾーン30の指定がある地区内において、スムーズ横断歩道を試行的に設置し、交通安全対策の効果を検証する社会実験を実施します。このスムーズ横断歩道の設置は、長野県内では初めての試みとなります。

【実施概要】

1 設置場所 千曲市杭瀬下一丁目64番地先の横断歩道(更埴文化会館東側)

2 設置期間 令和3年10月27日(水)～令和3年11月30日(火)
※設置工事は令和3年10月26日(火)を予定しています。

3 目的

ゾーン30(生活道路における交通安全対策として時速30kmの速度制限が設けられた区域)内で面的な低速度規制と、スムーズ横断歩道の物理的デバイス(装置)を組み合わせることによる交通安全効果を検証します。

本件に関する問い合わせ先

千曲市建設部 建設課 建設係 (課長)洞田英樹 (担当者)北村 賢

電話(代表)026-273-1111(内線3204) メールアドレス kensetu@city.chikuma.lg.jp

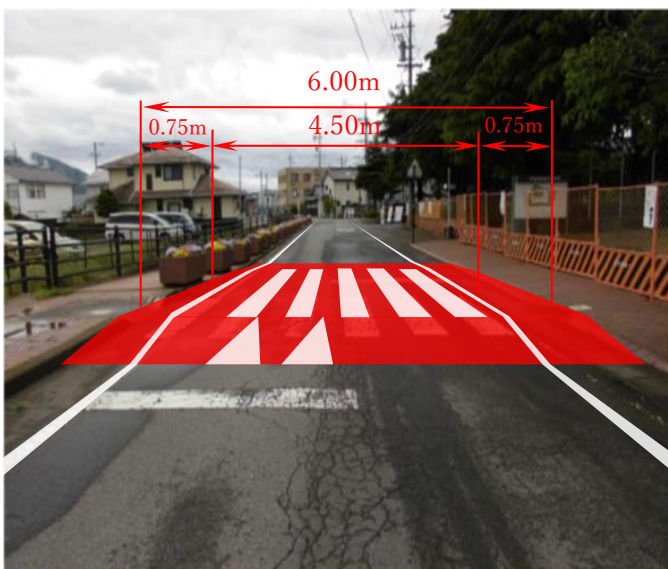
仮設スムーズ横断歩道の設置概要

現地位置図



凡例	
	実施箇所
	ゾーン30
	通学路 (埴生小学校)

設置イメージ



スムーズ横断歩道の概要

- ・ハンプ構造(道路上に設置した赤い凸型の構造物)により、歩道の高さまで高めた横断歩道のことです。
- ・自動車の速度抑制効果や、歩行者の視認性の向上、横断歩道での停止率の向上が期待できます。

